

平成 24 年度 第 3 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録

開催日時 平成 24 年 10 月 4 日（木） 午後 7 時～8 時 40 分
開催場所 笠間市役所 大会議室
参加者 市民 33 人

《フリートーク（意見交換）》

- 1 民間企業との人事交流について
- 2 要介護者の情報について
- 3 道の駅の設置について
- 4 地区で行うイベント時の看護師派遣について
- 5 コミュニティセンターについて
- 6 空き家や空き店舗について
- 7 ごみ処理施設について
- 8 交差点名について
- 9 避難所までの案内板について
- 10 当の越の排水設備について
- 11 避難所の収容人数について
- 12 友部小学校体育館のバリアフリー化について
- 13 災害の際の職員の配置について
- 14 いじめについて
- 15 市内井戸水の調査について
- 16 団地の井戸について
- 17 道路の拡張について
- 18 自発光標識の設置について
- 19 友部駅南側の道路拡幅について
- 20 ご当地ナンバープレートについて

《内容》

1 民間会社との人事交流について

【意見等】

民間企業との人事交流はどうなっているのか。また、今後の民間人採用についてどう考えているのか。

【回答】

現在は、茨城県から農政課長外 2 名の職員が来ています。また、今年の 8 月からは、国から神保産業経済部長が来ています。そして、観光マネージャーは民間の旅行会社から派遣されていましたが、任期が終わった時点で市の職員として採用しています。他にも、JR の企画力などを勉強するため職員を派遣しています。また、茨城県東京事務所にも職員を派遣し、省庁との事務取次ぎをしています。費用については、派遣するときも市の負担となりますが、人事交流は、職員のレベルアップと相手機関との関係強化のために行っています。

2 要介護者の情報について

【意見等】

地区の要介護者の人数を聞いたところ、市全体の数しか答えてもらえなかった。地区ごとの人数を市の担当者は把握し、データを教えてほしい。

【回答】

要介護者や要支援者の地区ごとのデータはあります。小さい地区だとデータが出ない場合があ

るかもしれませんが、地区に説明に行くときは、その地区の状況をきちんと把握していくことは必要だと思いますのでよく指導してまいります。

3 道の駅の設置について

【意見等】

農産物をPRするため、国道50号や高速のサービスエリアなどに、農産物販売所として公設の道の駅を作してほしい。

【回答】

道の駅に対する意見はいろいろ聞きますが、道の駅を作って何をメインに販売するかや、農産物を集めて販売するだけの企画力・生産体制があるかという問題があります。行政が運営するから赤字でいいというわけにもいきません。JAの店舗も市内にはありますので、総合的に考える必要があります。

4 地区で行うイベント時の看護師派遣について

【意見等】

旭台団地では三世代交流会を行っているが、高齢者が何かあったときのために看護師を派遣してほしい。

【回答】

市立病院には看護師が、3地区の保健センターには保健師がいます。茨城県教育研修センターで行った「健康づくり市民大会2012」のような大きなイベントには看護師を派遣していますが、地域のイベントに派遣するほどの人数体制となっているわけではありませんので、配置させるのは難しいと思います。

市では、高認知症のサポーターの講習会、救急救命講習会などを開催しています。このような講習会に参加して、みんなで支えあえる地域づくりが必要だと思います。

5 コミュニティセンターについて

【意見等】

笠間キッズ館は、地域の市民が利用できるというが、地域の敬老会は開催できなかったのが残念だった。例えば、児童館の脇に福祉センターを設置するなど、地域のみんなが利用できるコミュニティ施設があれば、高齢になっても、家に引きこもらずに外へ出て、みんなで楽しむことができると思う。

【回答】

ご意見として伺います。

6 空き家や空き店舗について

【意見等】

警察と連携して空き家対策をお願いしたい。また、空き家、空き店舗の利用価値もあると思う。

【回答】

笠間市では空き家が約6,000棟あります。防犯上の問題、景観上の問題がありますので、所有者には一定の管理をしていただくという条例化を検討しています。所有者の氏名を公表したり、強制執行をしたりするなどを考えています。

空き店舗は営業目的なので、住まいとしての位置づけとは違います。条例等も空き家とは別に考える必要があると思います。空き店舗については再利用、再生の橋渡しを行政がしたいと思っています。

所有者に意識を持ってもらうという意味で条例化は必要ですので、皆さんに対応してもらえそうな仕組みづくりを進めていきたいと思っています。

7 ごみ処理施設について

【意見等】

笠間市には、エコフロンティアかさまと環境センターの2つのごみ処理施設がある。笠間地区の住民はエコフロンティアかさまへ、友部地区と岩間地区は環境センターへごみを搬入するようにと決まっているが、どちらに搬入してもよいようにしてほしい。

【回答】

エコフロンティアかさまは茨城県環境保全事業団が主体です。環境センターは笠間市と水戸市との一部事務組合が主体です。エコフロンティアかさまをつくる時には合併を想定していなかったもので、地元の方との協議で笠間地区住民の搬入に限るという取り決めをしています。

ただし、災害時は例外です。東日本大震災の時も環境センターが壊れたので、一時エコフロンティアかさまで受入れを行いました。

8 交差点名について

【意見等】

「宍戸小学校前」など、交差点に名前をつけてほしい。道案内しやすくなり、地域名なども後世に残していくことができると思う。

【回答】

市道にかかる交差点であれば市で名前をつけることも可能と思いますので、検討したいと思います。

9 避難所までのコースについて

【意見等】

避難所までのコースを決め、案内板を設置してもらいたい。

【回答】

避難所までのコースは、日常生活している圏内からそれほど遠く離れたところではないので、住んでいる方は、どの道を通ればいいのかはわかると思います。

市町村によっては、何メートルで避難所という表示をしているところがあります。

10 当の越の排水設備について

【意見等】

昨年、大雨が降ったときに排水ができず冠水したので、からしまボウル跡地の一角に排水管を通せないか。

【回答】

整備することは可能ですが、以前調査した時には流末から整備することが必要であり、多額の工事費がかかるということでした。再度よく調べてみます。

11 避難所の収容人数について

【意見等】

友部中学校、友部小学校の避難所には、何人収容できるのか。

【回答】

避難所での一人当たりの面積がどれくらい必要かということは算定したことがありませんので、収容人数については設定していません。例えば300人と収容人数を決めてしまうと、それを超えたら受け入れられないことになってしまうので、収容人数は設定しない方がよいという考え方もあります。

東日本大震災では、3日程度で電気が復旧しました。おおよそ電気が復旧するまでの期間は多少我慢をお願いしたいと思いますので、現在の約30か所の避難所で対応して行きたいと思います。

12 友部小学校体育館のバリアフリー化について

【意見等】

友部小学校体育館で敬老会を行ったが、階段が急なので、スロープを設置するなどバリアフリーにしてほしい。

【回答】

友部小学校が建てられたころは、バリアフリーという考えはなかった時代だと思います。最近建設した施設については、スロープをつけるなどしています。古い施設の改修は、すぐにはできませんが、長い期間を見据えた中で改修して行きたいと考えております。

13 災害の際の職員の配置について

【意見等】

災害時の対策基準はあるのか。

【回答】

市では、災害の状況に応じて警戒本部を設置します。台風など風水害の場合は、警報が水戸気象台から発令された時点で、危機管理室の職員が待機します。地震の場合は、震度4の地震が発生したら、危機管理室の職員は被害情報の確認をします。震度5弱以上で地元の職員が拠点避難所に集まり、避難体制を整えます。

14 いじめについて

【意見等】

笠間市では、いじめの発生件数等ほどのくらいなのか。

【回答】

いじめは、どこの学校でも起こりうるものとして対応しています。実態は、4月から7月の間で小学校で5件、中学校で16件ありましたが、すべて解決しています。いじめに関するチェックリストがあり、担任を含め、先生が毎日チェックするようにしています。現在は2件、いじめに対応している案件があります。

15 市内井戸水の調査について

【意見等】

東日本大震災の時には、飲み水に困った。各学校では井戸を掘ったということだが、個人宅にも井戸があるので、飲めるかどうかを含めた個人宅の井戸の調査をするべきである。

【回答】

拠点避難所に井戸の整備をしていますが、それと共に地域の皆さんで自主防災組織をつくり、その中で井戸がある家や高齢者の一人住まいの家など地域の情報を集約していただきたいと思えます。役所で一元的に調査を行うことも一つの方法ですが、地域での助け合いを考えると自主防災組織で行うことが効果的だと思います。井戸があっても発電機がなかったということもありましたので、自主防災組織で発電機の整備もお願いしたいと思えます。

16 団地の井戸について

【意見等】

団地住まいなので近くに井戸がない。市役所で井戸を掘ってほしい。

【回答】

団地などの対応は課題ですが、井戸がある地区と連携するなど、周辺地域との協力が必要だと思います。

17 道路の拡張について

【意見等】

友部高校の学生などが通学路として使っている道で、車の往来が激しいので、道路の拡張をお

願いたい。周辺の住宅はセットバックしたり、敷地内に電柱を入れたりして協力している。

【回答】

市の基本的な考え方として、大きな道路の整備は、ほぼ終了したと思いますので、今後は生活道路に重点をおいた道路整備をしていきたいと考えています。幅員4メートル以下の道路を地元の皆さんの協力を得て、少しずつ解決して行きたいと思っています。皆さんのご協力をお願いします。

18 自発光標識の設置について

【意見等】

夜間でも道路の幅がわかるように、狭い道路の両サイドやセンターラインに太陽光パネル自発光標識か、または蛍光塗料などをつけてほしい。

【回答】

道路の幅がわかるような案内とのことですが、車のためなのか、歩行者のためなのかを考える必要があると思います。歩行者のためであれば、街路灯の方が効果的だと思います。

歩道と車道の境目には、反射板を設置することが望ましいと思いますので、どのような物を設置するのが良いか、よく勉強してみます。

19 友部駅南側の道路拡幅について

【意見等】

友部駅南側の通りを拡幅してほしい。

【回答】

友部駅前のまちづくりについてはいろいろな考え方があると思いますが、今後の社会状況などを考えた場合、たくさんお金と時間をかけて、今、道路を作る必要があるのかは疑問に思いますので、現在は整備計画をストップしているのが実情です。

20 ご当地ナンバープレートについて

【意見等】

ご当地ナンバープレートを、笠間市のPRのために導入してはどうか。

【回答】

ご当地ナンバープレートについては、何年前に一度検討したことがあります。ナンバープレートを作るのに約1,000万円の経費がかかると聞いてやめてしまいました。再度、検討してみます。